

活動レポート

バーニング講座大賑わい

「電熱ペンで文字や絵を描くバーニングアート」講座が8月6日、地域人材支援センター（長田区）で開催され、抽選に当たった30人の親子連れで賑わいました。スタッフは、花実の森PJ（菅田忠志代表・生11）の3人。

材料は、はがき大のシナの木です。クワガタを描く子、犬を描く子、かわいい女の子を描く子、親も子も無心にペンを動かします。クワガタの絵のそばには“暑中おみまい申し上げます”と添えられています。「これ切手貼って先生にだすねん。」



子どもたち
バーニングアートに挑戦する子
北村洋撮影

誇らしげに5年生の男の子が話してくれました。もらった先生は大喜びでしょう。

「子供より私の方がはまってしまいました」とお母さん。とても上手に表札ができていました。描きあがった作品は、参加者全員で発表しあい、個性豊かな作品に「上手やん、かわいい」と笑顔と拍手の中、それぞれの思い出もすっかり記憶にバーニングし、お土産にして持ち帰ってもらいました。

（花実の森 橋野美子・一般）

篠山へマジックの出前公演

KSCの卒業生たちがお米や野菜作りをしている篠山市真南条上営農組合（59戸）の敬老会（9月15日）に、マジッククラブの13期メンバー4人が招かれ”出前公演”。地元のシルバー40人と交歓会を楽しんできました（＝写真）。KSCの4人はプロの音楽グループ、神戸大生らの余興に交じってハンカチ、お札、トランプ、卵を使った自慢のマジックを次々と披露、拍手喝采を浴びました。4人は大西みどり、黒本茂弘、大澤貞男さんと南形です。

真南条上地区は神戸市内から車で約1時間。JR南矢代駅近く。現在、ここで活動しているのは木村民亮グループ、かえるの会（黒田忠美代表）、村尾グループの3つ。生環のG学習がきっかけで休耕



地などを借りて7、8年前から農作業を続け、地元にとけ込んでいます。この日の出演も、その縁で実現したものです。休憩時には、木村さんの案内で、実をつけ始めた黒豆畑を見学し、特産の赤ジャガイモを使ったアイスクリームを試食しました。

一方、13日にはマジッククラブの森田明朗代表ら3人が、流通科学大学（西区）の公開講座「ネアカ塾」に講師として招かれ、マジックの実演と指導をしてきました。学生や市民ら27人が受講。トリックの話や歴史などに聞き入り、マジック体験では懸命に取り組んでいました。同日は、料理・健康・法律・芸能など31講座があり、終日市民でにぎわいました。

（南形公子・福13 北区会）

中央区会 夏祭りをサポート

8月27日、中央区にある特養「真愛ホーム」（定員50人）の夏祭りに、区会のメンバー8人が屋台の



ボランティアで参加。焼きそば・たこ焼き・焼き鳥・飲み物など「はい、いかがですか」と声を張り上げ売りまくりました。

車いすの入居者は、学生ボランティアが付添い、ショッピング。家族と一

緒にテーブルを囲んでぱくついています。ゲームコーナーも大人気。綱引きや輪投げで景品が当たると「やった!」。歓声を上げて大はしゃぎです。

最後は盆踊りタイム。阿波踊りと炭坑節…囃子にのって家族・職員、車いすも元気いっぱい。大勢の人が輪に加わって楽しく踊り、おおきな輪が最高潮に達しお開きです。

「忙しかったけど、楽しかった。これからも、健康でボランティア活動に参加していけたら、幸せだな…」と思いつつ、会場を後にしました。

（甲田節子・国10 中央区会）